

令和4年度 伴走型小規模事業者支援推進事業(経営発達推進事業)

福知山市商工会 企業業況調査(新型コロナウイルス及びロシア・ウクライナ情勢関連)

令和4年10月調査結果(令和4年7月～9月分/令和4年11月公表)

■新型コロナウイルス感染症の影響を受けているか？

	全体		製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1.影響を受けている	47	58.0%	15	71.4%	5	25.0%	18	66.7%	9	69.2%
2.影響が出る懸念がある	24	29.6%	2	9.5%	13	65.0%	8	29.6%	1	7.7%
2.影響を受けていない	10	12.3%	4	19.0%	2	10.0%	1	3.7%	3	23.1%
計	81	100.0%	21	100.0%	20	100.0%	27	100.0%	13	100.0%

全体で58.0%(前回70.9%)の事業者が「影響を受けている」と回答しており、「経済活動の停滞がさらに長期化すると影響が出る懸念がある」を含めると87.6%(前回88.6%)が何らかの影響を危惧している状況にある。「影響を受けていない」は10件12.3%(前回9件11.4%)となっている。

■前期(令和4年4月～6月)の売上を100%とした場合、今期の売上比較は何%増減しているか？

	全体		製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1～30%減少	35	43.2%	5	23.8%	9	45.0%	15	55.6%	6	46.2%
31～60%減少	8	9.9%	4	19.0%	2	10.0%	1	3.7%	1	7.7%
61%～減少	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
増減なし	20	24.7%	8	38.1%	5	25.0%	3	11.1%	4	30.8%
1～30%増加	13	16.0%	3	14.3%	3	15.0%	5	18.5%	2	15.4%
31～60%増加	3	3.7%	1	4.8%	1	5.0%	1	3.7%	0	0.0%
61%～増加	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.4%	0	0.0%
計	81	100.0%	21	100.0%	20	100.0%	27	100.0%	13	100.0%

前期(4月～6月)との売上比較では1～30%減少が43.2%と最も多く、31%～以上減少を合わせると53.1%が前期に比べ売上が減少している。

業種別に減少事業者数を見ると製造業は9件42.8%、建設業は11件55.0%、卸小売業は16件59.3%、サービス業は7件53.9%となっており、特に卸小売業での減少が多い。

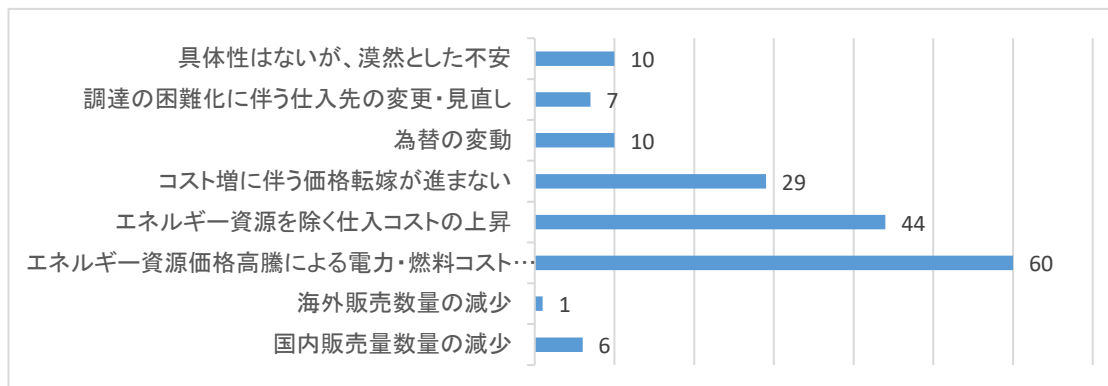
一方、増加は製造業4件19.1%、建設業4件20.0%、卸小売業8件29.6%、サービス業2件15.4%となり全業種で前回調査より減少している。

■ロシア・ウクライナ情勢の影響を受けているか？

	全体		製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
現在影響がある	52	64.2%	11	52.4%	13	65.0%	19	70.4%	9	69.2%
今のところはないが、先行きに懸念がある	19	23.5%	6	28.6%	6	30.0%	6	22.2%	1	7.7%
影響は全くない	10	12.3%	4	19.0%	1	5.0%	2	7.4%	3	23.1%
計	81	100.0%	21	100.0%	20	100.0%	27	100.0%	13	100.0%

全体で64.2%(前回52.5%)の事業者が「現在影響がある」と回答しており、前回調査より11.7ポイント上昇している。また、全体の23.5%は「今のところ影響はないが、先行きに懸念がある」と回答しており、何らかの影響を危惧している。

■具体的な影響(懸念を含む)について(複数該当する場合は複数選択可)



最多は「エネルギー資源(原油・天然ガス等)価格高騰による電力・燃料コストの上昇」が60件、次いで「エネルギー資源を除く仕入コストの上昇」が44件となっており、多くの事業者がコストプッシュによる利益押し下げを懸念している。